

## 平成 22 酒造年度における清酒の製造状況等について

国税庁では、清酒製造業の健全な発達に資するために清酒の製造状況等の調査を行っています。調査の結果は清酒の製造管理上の指標として清酒製造業者に利用されています。平成 22 酒造年度（平成 22 年 7 月 1 日～平成 23 年 6 月 30 日）における清酒の製造状況等については、別表「平成 22 酒造年度清酒製造状況等」のとおりです。

### 1 清酒の製造場数

平成 22 酒造年度において清酒を製造した場数は 1,272 場で、前年度から 30 場減少しています。

製造方法別の製造場数は、特定名称清酒においては、純米酒 1,018 場（前年度 1,035 場）、純米吟醸酒 1,072 場（同 1,112 場）、吟醸酒 964 場（同 1,001 場）、本醸造酒 937 場（同 973 場）であり、特定名称清酒以外の清酒は 962 場（前年度 998 場）です。

これらの全体の製造場に占める割合は、純米酒 80.0%（前年度 79.5%）、純米吟醸酒 84.3%（同 85.4%）、吟醸酒 75.8%（同 76.9%）、本醸造酒 73.7%（同 74.7%）、特定名称清酒以外の清酒 75.6%（同 76.7%）となっています。

（注）特定名称清酒とは、純米酒、純米吟醸酒、吟醸酒及び本醸造酒のことをいいます。

### 2 清酒の製造数量

平成 22 酒造年度における清酒の製造数量（アルコール分 20 度換算数量）は、439,651k1（対前年度比 6.3%減）です。その内、特定名称清酒の製造数量（アルコール分 20 度換算数量）は、137,833k1（対前年度比 6.8%減）となっています。

特定名称清酒の製造方法別の製造数量を前年度と比較すると、純米酒は対前年度比 4.9%減、純米吟醸酒は同 1.9%減、吟醸酒は同 9.6%減、本醸造酒は同 9.6%減です。

製造方法別の製造数量（アルコール分 20 度換算）の推移は表 1 及び図 1 のとおりです。

### **3 原料米の使用数量等**

平成 22 酒造年度における清酒用原料米は、玄米としては 232,421t(対前年度比 5.4%減)、白米としては 157,521t(同 5.7%減)が使用されています。原料米使用数量の推移は表 2 及び図 2 のとおりです。

精米歩合は 67.1%(前年度 67.2%)で、その推移は表 3 及び図 3 のとおりです。

### **4 原料用アルコールの使用数量**

平成 22 酒造年度の清酒製造に使用された原料用アルコールの数量(アルコール分 100 度換算)は 28,614kl(対前年度比 6.9%減)で、白米 1t 当たりに換算すると 181.7l(同 1.3%減)となります。原料用アルコールの使用数量の推移は表 4 及び図 4 のとおりです。

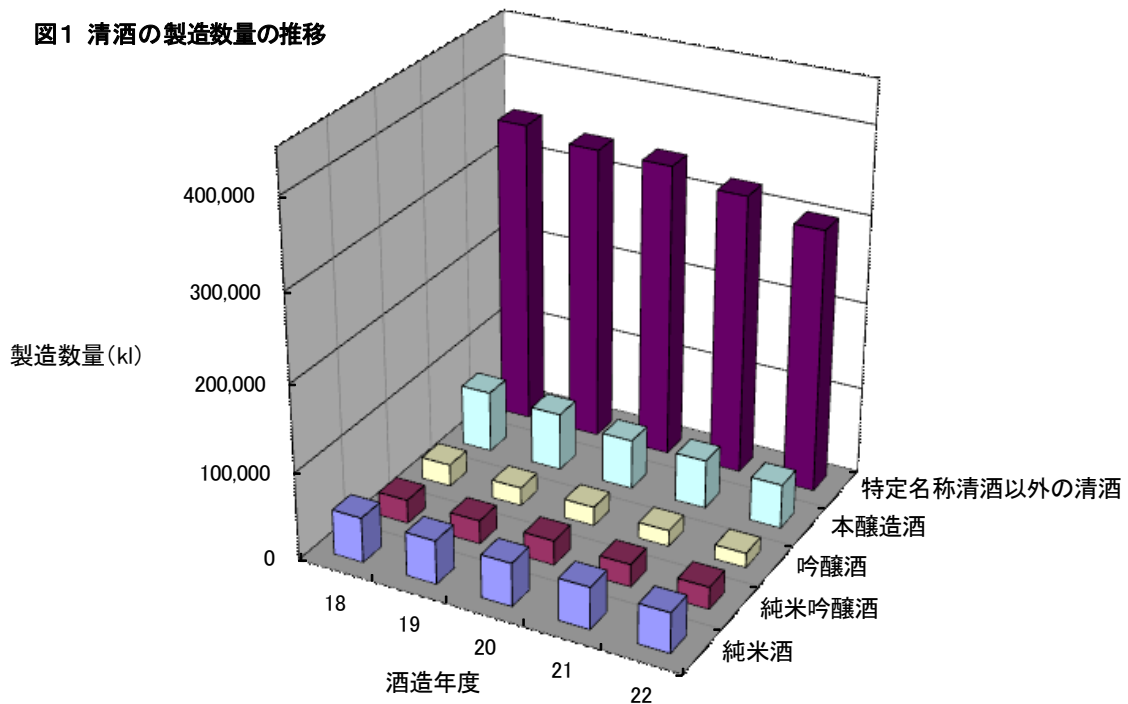
表1 製造方法別製造数量（アルコール分20度換算）の推移

区分	酒造年度	18	19	20	21	22	前年度比
純米酒	k1	(9.8)	(9.9)	(10.0)	(10.2)	(10.4)	%
		51,451	49,844	49,248	47,882	45,512	95.1
純米吟醸酒		(5.2)	(5.4)	(5.7)	(5.5)	(5.7)	
		27,174	26,950	28,041	25,703	25,211	98.1
吟醸酒		(4.8)	(4.2)	(4.4)	(3.9)	(3.8)	
		25,205	20,946	21,691	18,303	16,544	90.4
本醸造酒		(13.5)	(13.2)	(11.6)	(11.9)	(11.5)	
		70,616	66,188	57,094	55,942	50,565	90.4
(特定名称清酒)		(33.3)	(32.6)	(31.6)	(31.5)	(31.4)	
小計		174,445	163,928	156,074	147,829	137,833	93.2
特定名称清酒 以外の清酒		(66.7)	(67.4)	(68.4)	(68.5)	(68.6)	
		349,847	338,593	337,562	321,549	301,818	93.9
合計		(100.0)	(100.0)	(100.0)	(100.0)	(100.0)	
		524,293	502,521	493,636	469,378	439,651	93.7

(注) 1. ( ) 書は、構成比(%)です。

2. 集計値の端数処理の関係で、各値の合計が合計値と異なる場合があります。

図1 清酒の製造数量の推移



**表2 原料米使用数量の推移**

区 分	酒造年度					前年度 比
	18	19	20	21	22	
玄 米	t 282,256	t 270,363	t 260,715	t 245,742	t 232,421	% 94.6
白 米	190,426	182,366	176,958	167,042	157,521	94.3

**図2 原料米使用数量の推移**

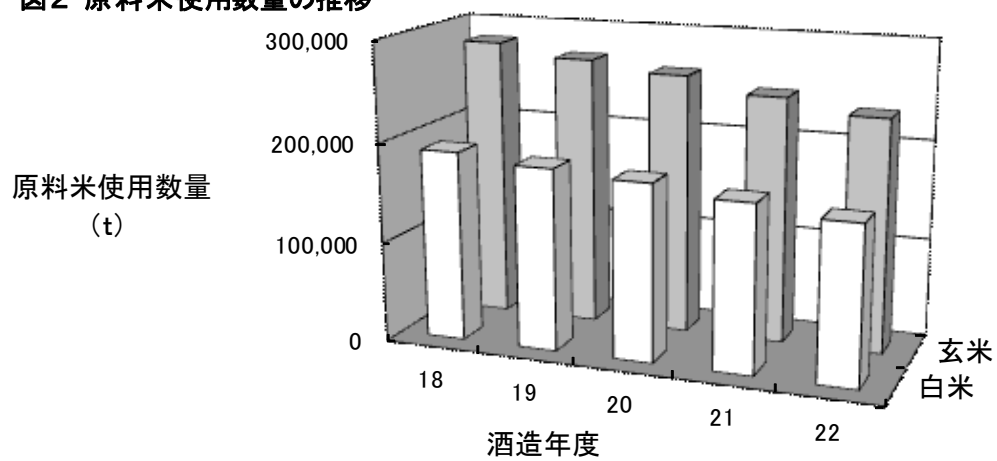


表3 精米歩合の推移

区 分	酒造年度				
	18	19	20	21	22
純 米 酒	66.0 %	65.6 %	65.7 %	65.9 %	65.9 %
純米吟醸酒	52.0	51.7	51.9	51.9	51.7
吟 醸 酒	51.0	50.5	50.4	50.3	50.1
本 醸 造 酒	65.4	64.8	65.4	64.9	64.6
特定名称清酒以外の清酒	72.6	72.6	72.9	73.5	73.6
合 計	66.8	66.6	66.8	67.2	67.1

図3 精米歩合の推移

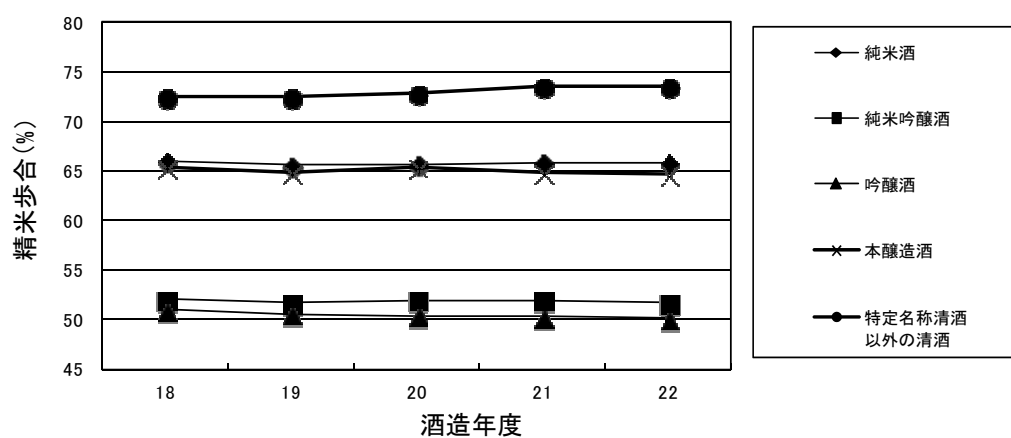
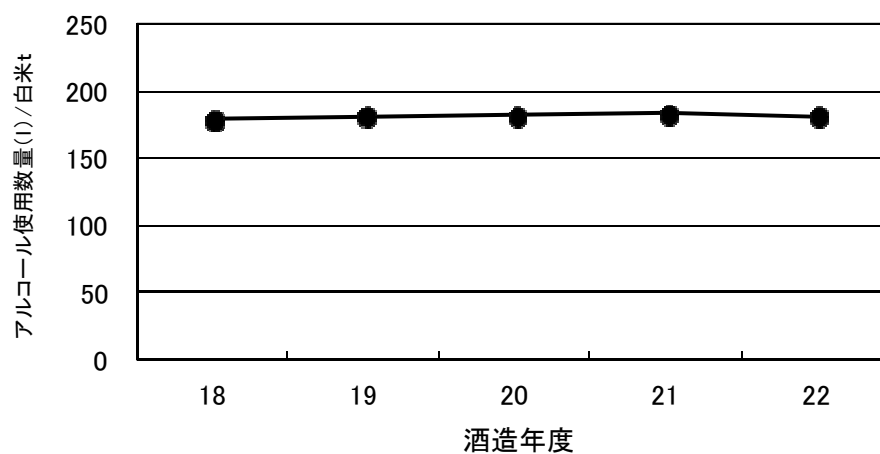


表4 原料用アルコールの使用数量（アルコール分100度換算）の推移

区分	酒造年度					前年度比
	18	19	20	21	22	
使用数量	k1 34,205	k1 33,093	k1 32,307	k1 30,730	k1 28,614	% 93.1
白米1t当たり 使用数量	l 179.6	l 181.5	l 182.6	l 184.0	l 181.7	% 98.7

図4 白米1t当たりの原料用アルコール使用数量



## 別表

## 平成22酒造年度清酒製造状況等

区分	製造場数	製成清酒					製成かす	使用原料			
		実数	純アル数量	平均アルコール分	日本酒度合計	平均日本酒度	実数	米 玄米	白米	アルコール又はしょうちゆう (純アル数量)	白米1tあたり
	場	kl	kl	度	千度	度	t	t	t	kl	l
純米酒	1,018	50,040	9,102	18.2	78,099	1.6	6,731	36,115	23,791	—	—
純米吟醸酒	1,072	28,653	5,042	17.6	70,225	2.5	5,169	26,826	13,873	—	—
吟醸酒	964	17,588	3,309	18.8	73,992	4.2	2,909	14,895	7,455	753	101.0
本醸造酒	937	51,298	10,113	19.7	183,978	3.6	6,276	32,904	21,249	2,333	109.8
特定名称清酒以外の清酒	962	292,714	60,364	20.6	392,820	1.3	19,248	121,681	91,153	25,527	280.0
全体	1,272	440,293	87,930	20.0	799,114	1.8	40,333	232,421	157,521	28,614	181.7
区分	使用原料									各種歩合	
	糖類		酸類				清酒かす	清酒		精米歩合	かす歩合
	ぶどう糖	水あめ	乳酸	こはく酸	くえん酸	りんご酸		実数	純アル数量		
kg	kg	kg	kg	kg	kg	t	kl	kl	%	%	
純米酒	—	—	—	—	—	—	—	—	—	65.9	28.3
純米吟醸酒	—	—	—	—	—	—	—	—	—	51.7	37.3
吟醸酒	—	—	—	—	—	—	—	—	—	50.1	39.0
本醸造酒	—	—	—	—	—	—	—	—	—	64.6	29.5
特定名称清酒以外の清酒	1,141,593	4,022,146	20,248	14,669	3,905	1,186	14	442	24	73.6	21.1
全体	1,141,593	4,022,146	20,248	14,669	3,905	1,186	14	442	24	67.1	25.6

- (注) 1. 集計値の端数処理の関係で、各値の合計が合計値と異なる場合があります。  
2. 純アル数量とは、製成清酒(実数)に含まれるアルコール分(100度換算)の数量をいいます。  
3. 日本酒度とは清酒の比重を表す指標です。  
4. 「日本酒度合計」は、日本酒度×製成数量(1)の累計です。  
5. 精米歩合とは、玄米からぬか、胚芽等の表層部を取り去った状態の米の、その玄米に対する重量の割合をいいます。